

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月26日
【四半期会計期間】	第52期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	ユニコムグループホールディングス株式会社
【英訳名】	UNICOM GROUP HOLDINGS, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 二家 英彰
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目38番11号
【電話番号】	03(5623)8744(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 酒井 清行
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目38番11号
【電話番号】	03(5623)8744(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 酒井 清行
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年8月14日付をもって提出いたしました第52期第1四半期(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)四半期報告書の記載内容の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。
なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBR Lの修正も行いましたので、併せて修正後のXBR L形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を関連書類として提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 財政状態及び経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

注記事項

1 株当たり情報

2 その他

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第52期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第51期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
営業収益(千円)(注2)	2,707,403	12,277,930
経常損失()(千円)	166,099	178,110
四半期(当期)純損失() (千円)	190,221	<u>52,761</u>
純資産額(千円)	17,484,783	18,291,261
総資産額(千円)	91,576,771	88,195,180
1株当たり純資産額(円)	<u>1,338.46</u>	<u>1,367.69</u>
1株当たり四半期(当期)純損失 ()(円)	15.86	<u>4.40</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)(注3)	-	-
自己資本比率(%)	<u>17.53</u>	<u>18.60</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	438,846	10,110,744
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	284,212	10,965,172
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,156,028	1,548,654
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,670,552	8,531,973
従業員数(人)	762	764

(注) <略>

(訂正後)

回次	第52期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第51期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
営業収益(千円)(注2)	2,707,403	12,277,930
経常損失()(千円)	166,099	178,110
当期純利益又は四半期純損失 ()(千円)	190,221	<u>30,671</u>
純資産額(千円)	17,484,783	18,291,261
総資産額(千円)	91,576,771	88,195,180
1株当たり純資産額(円)	<u>1,345.41</u>	<u>1,374.65</u>
1株当たり当期純利益又は1株当 たり四半期純損失()(円)	15.86	<u>2.56</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)(注3)	-	-
自己資本比率(%)	<u>17.62</u>	<u>18.69</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	438,846	10,110,744
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	284,212	10,965,172
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,156,028	1,548,654
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,670,552	8,531,973
従業員数(人)	762	764

(注) <略>

第2【事業の状況】

2【財政状態及び経営成績の分析】

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は91,576百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,381百万円の増加となりました。これは主に、差入保証金が2,084百万円増加したことや、金銭の信託が1,223百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は74,091百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,188百万円の増加となりました。これは主に、信用取引負債が2,131百万円増加したことや、預り金が1,673百万円増加したこと、預り証拠金が659百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部では、株主資本と評価・換算差額等の合計が16,050百万円となり、前連結会計年度末と比べて350百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払額が239百万円あったことによるものであります。また、アイディーオー証券株式会社に対する当社の株式持分比率の増加により少数株主持分は456百万円の減少となり、純資産合計は17,484百万円となりました。

(訂正後)

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は91,576百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,381百万円の増加となりました。これは主に、差入保証金が2,084百万円増加したことや、金銭の信託が1,223百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は74,091百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,188百万円の増加となりました。これは主に、信用取引負債が2,131百万円増加したことや、預り金が1,673百万円増加したこと、預り証拠金が659百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部では、株主資本と評価・換算差額等の合計が16,134百万円となり、前連結会計年度末と比べて350百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払額が239百万円あったことによるものであります。また、アイディーオー証券株式会社に対する当社の株式持分比率の増加により少数株主持分は456百万円の減少となり、純資産合計は17,484百万円となりました。

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<前略>		
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,753,500	2,753,500
資本剰余金	1,954,522	1,954,522
利益剰余金	<u>12,766,461</u>	<u>13,134,889</u>
自己株式	1,408,726	1,408,726
株主資本合計	<u>16,065,757</u>	<u>16,434,184</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,696	11,145
為替換算調整勘定	18,645	21,618
評価・換算差額等合計	14,949	32,764
新株予約権	3,263	2,373
少数株主持分	<u>1,430,711</u>	<u>1,887,467</u>
純資産合計	17,484,783	18,291,261
負債純資産合計	91,576,771	88,195,180

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<前略>		
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,753,500	2,753,500
資本剰余金	1,954,522	1,954,522
利益剰余金	<u>12,849,894</u>	<u>13,218,321</u>
自己株式	1,408,726	1,408,726
株主資本合計	<u>16,149,190</u>	<u>16,517,617</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,696	11,145
為替換算調整勘定	18,645	21,618
評価・換算差額等合計	14,949	32,764
新株予約権	3,263	2,373
少数株主持分	<u>1,347,278</u>	<u>1,804,034</u>
純資産合計	17,484,783	18,291,261
負債純資産合計	91,576,771	88,195,180

【注記事項】

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 1,338.46円	1株当たり純資産額 1,367.69円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	17,484,783
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	<u>1,433,974</u>
(うち新株予約権)	(3,263)
(うち少数株主持分)	(1,430,711)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	<u>16,050,808</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,992,020

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 1,345.41円	1株当たり純資産額 1,374.65円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	17,484,783
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	<u>1,350,542</u>
(うち新株予約権)	(3,263)
(うち少数株主持分)	(1,347,278)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	<u>16,134,241</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,992,020

2【その他】

(2) 訴訟

(訂正前)

現在、当社グループにおいては、重要な訴訟事件として係争中のものが23件（訴訟金額合計951百万円）ございます。

当該訴訟事件は、商品先物取引及び証券取引において委託者又は顧客より損害賠償請求の提訴を受けたものであります。当社グループとしましては、当該取引における全ての行為は、関連法令・規則等を遵守したものであり、また取引の全てにおいて委託者の指示に基づいて公明・誠実に行われたことを主張しております。しかしながら、結審に至るまでには相当の期間を要するものと思われ、現時点において結果を予測するのは困難であります。

(訂正後)

現在、当社グループにおいては、重要な訴訟事件として係争中のものが22件（訴訟金額合計945百万円）ございます。

当該訴訟事件は、商品先物取引及び証券取引において委託者又は顧客より損害賠償請求の提訴を受けたものであります。当社グループとしましては、当該取引における全ての行為は、関連法令・規則等を遵守したものであり、また取引の全てにおいて委託者の指示に基づいて公明・誠実に行われたことを主張しております。しかしながら、結審に至るまでには相当の期間を要するものと思われ、現時点において結果を予測するのは困難であります。